

# ノアハウスの家

Vol.84



ノアハウスでは「家づくり」において、3つの大きな目標があります。



## ノアハウスの考える「快適な家」とは

- ◆ 1 番目に来るのは「じょうぶな家」  
いつか必ず来る大地震。その日に備えた家づくり
- ◆ 2 番目は「夏は涼しく、冬は暖かい家」  
パッシブデザインで光熱費の節約
- ◆ 3 番目は「ちょっとかっこいい木の家」  
日々の暮らしにちょっとした刺激と木の安らぎがある家



☆1 番目に来るのは「じょうぶな家」  
\*いつか来る大地震。その日に備えた家づくり\*

構造体は安心の「耐震等級3」

木造住宅の構造を数値でとらえ、その強度を証明する構造計算。

これによって初めて、自然が引き起こす危険から住む人を守り、自然の豊かさを引き出して住む人の快適さをもたらすことが可能になると、SE 構法は考えています。

木造でありながら、全棟構造計算する耐震構法 SE 構法。建築基準法の約 1.5 倍の耐震等級3を標準とします。構造体の接合部は断面欠損の少ない、金物ピン工法。

ノアハウスは SE 構法で地震から家を守ります。



## Vol.84 の目次です 是非、ご覧下さい

- ・P1・・・ノアハウスの家づくりについて
- ・P2、3・・・今月のお仕事
- ・P4・・・ノアハウスの家づくりについて

ご意見、ご感想をお待ちいたしております。

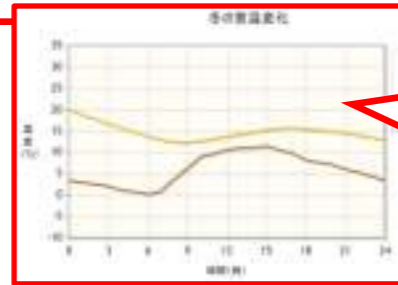
TEL 058-324-9993 (直通)  
Mail [noa@noa.vc](mailto:noa@noa.vc) ノアハウス(株) 杉山



☆2番目は「夏は涼しく、冬は暖かい家」

\*パッシブデザインで光熱費の節約\*

これも大切なことが3つあります。



温熱ソフトでシミュレーション

1、断熱をしっかりやる 2、太陽の光を取り入れる 3、風通しを良くする

1 番目の断熱では、具体的な数字では UA 値 0.34 を目指します。

UA 値とは、熱の通しやすさを示す数字で小さいほど断熱性能に優れています。

国の H25 年度省エネ基準では、本巣市は「区分6」で、UA 値は 0.87 です。これに対し、高断熱化技術開発委員会、通称、HEAT20 では 0.46 を推奨基準にしている、当社の目標、0.34 は東北地方レベルの数字です。

参考までに当社での標準的な施工実績では 0.5~0.6 ほどの数値になります。

決して 0.34 は遠い数字ではないと考えています。

2 番目はパッシブデザインで太陽の光を取り入れます。

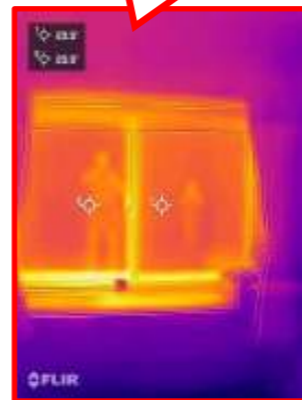
自然の力を最大限利用し、エコなデザインを考えます。上下左右の空気の流れ。夏の暑い日射を遮り、冬の温かい太陽光を取り入れる。

3 番目、風通しを良くする

その土地特有の風向きを利用し、室内を風が通り抜ける間取りを考えます。

ノアハウスはパッシブデザイン住宅で地球を守ります。

熱画像カメラで実測



☆3番目は「ちょっとかっこいい木の家」

\*日々の暮らしにちょっとした刺激と木の安らぎがある家\*

本巣の木で「地産地消」

本巣市には木がたくさんあります。

しかし、残念ながら「本巣の木」として市場に出回っていることはありません。なんだかものすごくもったいないと思います。木を見て、触れて、感じる家。ノアハウスは地産地消で本巣の木を守ります。



いつもありがとうございます。QRコードからHPでもご覧になれます



NOA Vol 84 2022年1月31 文責：ノアハウス株式会社 代表取締役 杉山宗憲

本巣市上高屋 804 TEL 058-324-9993 <http://www.noa.vc>

一級建築士、宅地建物取引主任者、岐阜県木造住宅アドバイザー。住環境福祉コーディネーター2級、

CASBEE 戸建評価員、岐阜県木造住宅耐震相談士、暮らし省エネマイスター。